

議案質疑・一般質問の内容及び答弁者

市長の所信表明に対する質問

【6月19日】

平成26年6月定例市議会

発 言 議 員	議 案 件 名 ・ 要 旨	答 弁 者
8番 島村 勉 議員	市長の所信表明に対する質問 1. 清掃センターについて 1) 31年経過し、老朽化し数多くの機器や設備などが耐用年数を経過した施設、設備を更に改修して、今後20年使用できるのか。 2) 更に20年使用するには、大規模改修か、全面改修になるのではないのか。どのぐらい予算がかかるのか試算しているのか。 3) 「広域でのごみ処理も視野に入れながら新たな施設整備につなげていく」とのことだが、広域化のための方策や調整を何か行っているのか。また、単独の場合、広域の場合、それぞれの今後のスケジュール及び財源計画について 2. 「アメリカ合衆国ミルブレイ市との姉妹都市提携を推進する」とのことだが、提携ありきではなく、その是非も含めて議会と協議していくべきと考えるが、その見解について	市 長
11番 斉藤 隆 議員	河田市長所信表明に対する質問 1. 羽生総合病院の新病院早期開業へむけた具体的協議及び今後の取り組みについて 2. 子ども医療費現物給付へむけた具体的スケジュールについて 3. 行政全般を俯瞰した少子化対策の制度構築への計画について 4. 職員400人体制の継続の実効性について	市 長
3番 永沼 正人 議員	所信表明について 1. 子ども医療費の助成について 窓口払いを行うことで医療費の増大が食い止められるとの主張が変わったことについて 2. 観光交流人口100万人を目指すサミット（イベント）について 「ゆるキャラ」呼称の使用ができない。使用するためには？イベントへの影響は？今後の展開について	市 長
6番 茂木 延夫 議員	所信表明に対する質問 1. この4年前の所信表明で強調された項目（1. 日本一の魅力ある羽生市を目指します。2. 単独での自主自律を目指します。3. 観光交流人口100万人を目指します）について、それぞれにどのように取り組み、何が具現化され、どの項目が未達成だったのか、市長自身がどのように受け止めているのかについて 2. 本市の東玄関である羽生インターチェンジ周辺について、その開発について支援して、早期に土地の活用を実現することに対し、今後の具体的な計画について 3. 観光交流人口100万人を目指す取り組みについて、さいたま水族館、隣接地には地ビール工場を擁する農林公園キャッセ羽生が事業を展開して、この一大公園エリアを、埼玉県と連携して年間50万人が訪れる観光スポットに成長させ、羽生市の魅力を全国的に発信する拠点としたいとありますが、今後の具体的な計画について	市 長
1番 峯寄 貴生 議員	所信表明についての質問 1. 観光交流人口100万人への取り組みについて 2. ミルブレイ市との姉妹都市提携について	市 長

発言議員	議案件名・要旨	答弁者
13番 蜂須 直巳 議員	<p>所信表明に対する質問</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職員400人体制を実現（56人削減）を強調しておりますが、市民サービスの低下を招かない事が重要であると考えます。様々な部署に臨時職員を配しており具体的な苦情は少ないようではありますが、問題点はゼロでは無いと思えます。400人体制だけが行政効率では無いと思えます。臨時職員の方は、2～3年で入れ替わる訳ですから、その都度事務引継ぎや、新たな指導が発生する訳ですから、通常業務に少なからずマイナス面が発生しているものと考えられます。また、業務委託や指定管理者制度の導入による経費も発生しております。厳密に長い目で見た市民サービスの問題をどの様に分析しているのか。 2. 羽生市の知名度と高感度を飛躍的に向上させたとの事ですが、ゆるキャラ事業はある意味一過性の取り組みであり、これにより羽生市の基礎体力が向上したとはとても思いません。今日云われる様に人口減少や超高齢化社会に対応する施策をどう克服するかは、極めて重要な課題であります。私の接する市民の方々からは、職・住接近の瀬策として、企業誘致や新住民の増加策など都市として基本的取り組みの具体策にもっと力を入れてほしい。都市の魅力は「ゆるキャラ」ではなく生活基盤の安定的発展だと訴える方がたくさんおります。 3. 観光交流人口100万人構想も水ぶくれした数字の羅列をしては基本的目標を見失う事になると厳しい指摘をする方もおります。元々、羽生市は観光都市ではないと思えます。羽生市内で消費行動をして頂く方が多い事に異論はありませんが、現状を見誤って背伸びをしてみてもあまり意味はないと考えます。基本に立ち帰った諸施策を真剣に考えないとならない時だと思っておりますが、いかがでしょうか。 4. 羽生インター前の開発は極めて重要な課題と考えます。河田市長は8年前も、そして4年前にも重要施策の一つとして訴えておりましたが、ある意味目標年度を掲げた重点施策とすべきと考えます。具体的見通しをお聞かせ下さい。 5. 清掃センターについて伺います。現状は十分に機能が保たれ、向こう20年は大丈夫との見解の様ではありますが、現実ここ数年、毎年1億から2億の修繕費や大規模修繕を行いながら運転管理している実態を考えると、あと20年安心などと言う見解は何を根拠としているのでしょうか。仮に故障発生時、最高責任者として適格な対応が出来るのか。 6. 昨年度予算凍結され、本年度予算にも組まれて無い姉妹都市交流に関し改めて見解を伺いたい。 	市長
14番 高橋 督儀 議員	<p>所信表明に対する質問</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本一魅力ある羽生市を目指すことについて 2. 単独での自主自律について 3. 観光交流人口100万人を目指す取り組みについて 	市長

議案に対する質疑

その2 平成26年度補正予算・条例関係（議案第30号～第36号）

【6月19日】

平成26年6月定例市議会

発言議員	議案案件名・要旨	答弁者
3番 永沼 正人 議員	1. 議案第31号、議案第32号について 現在、審議会等の数。新たに立ち上げるのであれば、重複したり活動が不活発な審議会等を廃止するなど経費削減努力が必要。当局の見解について 2. 議案第36号について 羽生夏祭り、世界キャラサミットに当然適用されると思うが、その影響について	① 総務部長 ② 消防長
11番 斉藤 隆 議員	1. 議案第35号 羽生市非常勤消防団員に係る退職報償金に関する条例の一部を改正する条例 1) 改正後支給対象となる予定の消防団退職者数について 2) 消防団退職時の団員経験年数の既況について 3) 消防団員等への告知の在り方について 2. 議案第36号 羽生市火災予防条例の一部を改正する条例 1) 第18条第1項第10号に規定された消火器の準備に係る事項の運用上の検査体制について 2) 第42条の2第1項 消防長が別に定める要件に該当する羽生市の催しの想定について 3) 当該規定の根拠について 4) 当該規定除外の催しの火災予防対策の見解について	① 消防長 ② 消防長
13番 蜂須 直巳 議員	1. 議案第31号及び議案第32号について 1) 議案第31号 いじめ問題対策連絡協議会は、「いじめ」予防を主眼とし議案第32号 いじめ問題調査審議会は、「いじめ」の発生を前提とし対策に関する組織と受けとれるが、そうした認識で良いのか。 2) 仮に「いじめ」と受けとめられる事案が発生した場合、この2つの組織の連携はどの様に機能し展開していくのか。 3) 第31号の対策連絡協議会の庶務は人権推進課が、第32号の問題調査審議会の庶務は教育委員会・学校教育課が、夫々庶務担当を分離した意味について 4) 「いじめ」の具体的事案は学校生活の中で発生するとの前提なのか。 5) 協議会の開催ひん度をどの位と考えているか。 6) 予防を主眼とする性格上、ある種の予兆を見逃さない細心の注意と配りょが求められると思うが。	① 学校教育部長

【6月23日】

発言議員	議 案 件 名 ・ 要 旨	答 弁 者
6番 茂木 延夫 議員	1. 高齢者への聴覚チェックで認知症予防の充実を 1) 簡易聴覚チェッカーを活用した、耳鼻科医診察の勧奨について 2) 特定健康診査における聴覚検査の導入について 2. ICTを活用した行政事務の効率化について 1) 重要案件における、必要な決裁職員数と日数について 2) 電子決裁導入のメリット・デメリット及び導入に対する見解について 3) ICTを活用した行政事務の効率化に対する見解について	① 市民福祉部長 ② 企画財務部長
11番 斉藤 隆 議員	1. 災害避難に係る新ガイドラインの対応について 1) 平成16年避難勧告マニュアルの作成について 2) 平成17年3月 羽生市の避難の基準について 3) 過去の避難勧告や避難誘導等の事例について 4) 羽生市災害避難新マニュアルの策定について 2. 介護保険制度の改善の在り方について 1) 介護保険制度の運用に係る要望や課題の掌握対処の在り方について 2) それら要望や課題等によって介護保険制度の運用に係る改善事例について 3) 福祉用具の購入・住宅改修の補助の支給に受領委任払いの導入に対する見解について 3. 消防団充実強化対策について 1) 消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律 第8条の参酌及び必要な措置への基本的見解について 2) 第9条への具体的取り組みについて 3) 第11条 消防団協力事業所表示制度の導入・事業者への消防団への理解協力の促進について及び財政上・税制上その他必要な措置への見解について 4) 第13条 消防団員の適切な報酬・費用弁償等の処遇改善について	① 総務部長 ② 市民福祉部長 ③ 消防長
1番 峯寄 貴生 議員	1. 永明寺古墳の県指定文化財への取り組みについて 1) 県の指定文化財への取り組み状況について 2) 観光資源の観点における今後の市の対応について 2. 生活道路の整備について 1) 緊急車両が通れない道、簡易舗装道路の現状について 2) 道路幅員拡幅及び本舗装について	① 生涯学習部長 ② まちづくり部長
7番 奥沢 和明 議員	1. 施設入所待機お年寄り対策について 1) 待機お年寄りの状況（過去、将来の予想10年くらい）について 2) 増加させない為の対策、予防・健康寿命延命対策について 3) 待機お年寄りゼロを目指すことについて 4) 特養に入所できればとの希望者、約100人の対応について 2. 5月17日（土）フジテレビ「第1次さんま内閣～首相！全国からこんな陳情がきてますスペシャル～」での羽生市の羽生結弦選手に関する取組が急遽放映されなかった事について 1) 羽生結弦選手勝手に応援団の設立の目的について 2) テレビに取り上げられるまでの活動状況について 3) 急遽変更放映停止になったしまったのかについて 4) たらればは無いが、失われた損失について 5) 勝手に応援団の今後の活動について	① 市民福祉部長 ② 生涯学習部長

【6月24日】

発言議員	議 案 件 名 ・ 要 旨	答 弁 者
<p>3番 永沼 正人 議員</p>	<p>1. 羽生総合病院跡地利用計画の策定について 1) 羽生総合病院の市内新築移転が決定しつつあるとのことだが、そうであれば、早急に現在の羽生病院が立っている市有地の利用計画を策定すべき。当該用地は、区画整理事業地内にあり、道路計画等も新規に取り組む可能性もありうる。市有地に隣接する民有地の買収や取付道路の改廃などでより価値の高い地形（じがた）を形成し、公募等で新規の事業者等の誘致を図り、新規雇用の創出を狙う総合的な跡地利用計画が必要。当局の見解について</p> <p>2. 市内小学校の統廃合等について 1) 文部科学省は、クラス替えができないなど小規模な学校が増えていて、背景に子どもの減少に比べて学校の統廃合が進んでいない実態があるとして、統廃合を促す新たな指針を作ることとした。こうした前提を踏まえると、羽生市としても、生徒の減少が激しい小学校の統廃合が喫緊の課題になることは明白であり、どのように取り組むのか、具体的な計画はあるのか、現状、問題点について取り組む上での課題など、当局に伺うものである。 2) 便秘の児童が増加しているとの報道もあり、市内小中学校のトイレ事情について、現状、課題、改修計画等について伺いたい。</p>	<p>① まちづくり部長 ② 教 育 長 ③ 学 校 教 育 部 長</p>
<p>12番 丑久保恒行 議員</p>	<p>1. 道の駅はにゅう周辺の整備状況について 1) 新昭和橋の開通時期について 2) 遊歩道の整備計画について 3) 別所地区民、移転者の移転先や移転時期等について</p> <p>2. 水害対策について 1) 利根川決壊による避難場所について 2) 社会的弱者の避難誘導について</p> <p>3. 選挙の投票率を高める工夫を 1) 市長選・市議補選、各地区投票所の投票率からの見解について 2) 期日前投票率の推移からの見解について 3) 社会的弱者への対応について</p>	<p>① まちづくり部長 ② 総 務 部 長 ③ 選挙管理委員会委員長 ④ 選挙管理委員会書記長 ⑤ //</p>
<p>8番 島村 勉 議員</p>	<p>1. 羽生市長選挙、羽生市議会議員補欠選挙について 1) 市長選挙における得票差を市長はどのようにとらえているかについて 2) 投票率が50%以下という、市長選挙としては、過去にない低投票率であったが、選挙管理委員会はこれをどのように考えているのかについて 3) 市長選挙の無効投票が260票、市議会議員補欠選挙の無効票が1,698票あった。無効票の内容と、原因、傾向をどのように分析しているのかについて</p> <p>2. 西中通学路の安全確保について 1) 西中学校の通学路である文化通り東武伊勢崎線の踏切部分の拡幅整備における現在の進捗状況について</p>	<p>① 市 長 ② 選挙管理委員会委員長 ③ 選挙管理委員会書記長 ④ まちづくり部長</p>

【6月24日】

発言議員	議 案 件 名 ・ 要 旨	答 弁 者
<p>13番 蜂須 直巳 議員</p>	<p>1. 認知症による徘徊高齢者対策について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 羽生市の高齢化率と認知症と推測される方の人数について 2) 過去3年程で行方不明として届出や相談のあった件数について 3) 上記事案の発生時における家族、親族の方との連携について 4) 徘徊高齢者等位置探索サービスの利用実数について 5) 徘徊高齢者の身元が確認出来るような（例えば着衣に住所、氏名、連絡先等を縫い付ける等）対策と取り組みについて 6) 行方不明の事案が発生した場合（届出）近隣自治体や近県への情報提供や照会の取り組みについて（警察との協力も含め）体制整備について 7) 地域での見守りと声掛け等、地域ぐるみの取り組み強化について <p>2. 羽生総合病院、新病院建設の進捗状況について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成18年12月に病院側から新築移転に関し要望書が提出されて以来7年半が経過しております。現状では、①市内での移転②土地代は羽生市が提供との基本合意はされておりますが、具体的解決には至っておりません。この間、現在地での30年の貸与契約が満了となり、5年間の延長貸与期間に入っております。H25年4月の「まちづくり政策課」からの進捗状況の報告、更にはH26年5月の同報告や去る3月議会での根岸議員や島村議員の質問でも基本的にはほぼ同様の内容となっていました。5月21日の全員協議会での配布資料でも26年4月30日付の「埼玉医療生協からの進捗状況報告書」も内容は同様ですがその一方で4月30日消印の松本院長名で出されたハガキでは「近々建設地が決まります」「羽生市・河田市長と連携して進めています」とする内容で、明らかに我々が担当から伺っている内容とはかなり隔たりがあり、実態はどうなのか疑問を感じますし、期待をする市民の皆さんに大きな誤解を与えかねない内容と感じますが、この点病院側に真意を問う等の行動はおこしたのか。今後の交渉を進める上での信頼関係にも影響すると考えるが。 <p>※12,000枚のハガキを出したとの話しを伺っている。</p>	<p>①市民福祉部長</p> <p>②まちづくり部長</p> <p>③市長</p>